

2018年

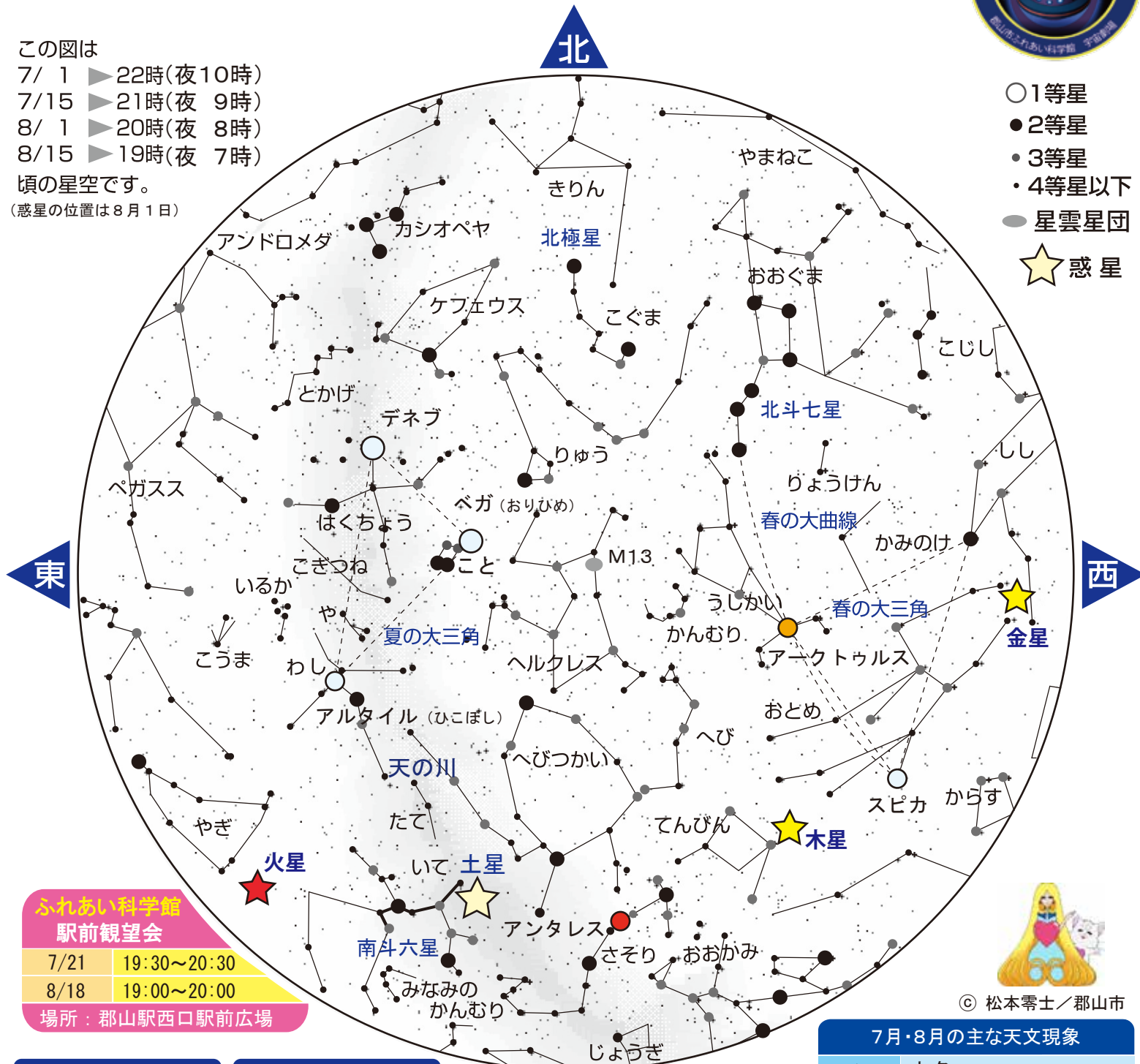
# 7月▶8月の星空



この図は  
 7/ 1 ▶ 22時(夜10時)  
 7/15 ▶ 21時(夜 9時)  
 8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)  
 8/15 ▶ 19時(夜 7時)

頃の星空です。  
 (惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



**ふれあい科学館 駅前観望会**  
 7/21 19:30~20:30  
 8/18 19:00~20:00  
 場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出、日の入		
7/ 1	4:21	19:04
7/15	4:29	19:00
8/ 1	4:42	18:47
8/15	4:54	18:32

月の満ち欠け		
新月	7/13, 8/11	
上弦	7/20, 8/18	
満月	7/28, 8/26	
下弦	7/ 6, 8/ 5	

※上弦、下弦は半月です。

**観望会** 場所：平成記念郡山こどもの森公園  
**火星観望会**  
 8月11日 19:00~21:00  
 ※雨天時は12日に延期、12日が雨天の場合は中止となります。

7月・8月の主な天文現象	
7/ 7	七夕
7/31	火星が最接近
8/13	ペルセウス座流星群極大
8/17	伝統的七夕

今年の夏の夜空には、4つの明るい惑星が見られます。まずは夕方の西の空に見える金星です。古くから「宵の明星」として親しまれており、この夏の一番星として見つかるでしょう。次に、南西に見える木星です。太陽系で一番大きな惑星である木星は、夜空では黄色く見えてどっしりとした輝きが印象的です。望遠鏡では表面の縞模様や、木星の周りを回る衛星の姿が見られます。南の空には土星があります。肉眼では木星に比べて白っぽく、木星よりやや暗く見えますが、望遠鏡では大きな環の様子を見ることができます。環の見え方は年によって変わり、今年はとても観察しやすい状態となっています。最後は南東の空に見える火星です。今年は地球と火星が特に接近する年で、「火星大接近」として注目度が高まっています。火星が地球に最も近づくのは7月31日で、その前後しばらくの間は木星よりも明るく見え、9月の初めごろまで夜空でひときわ目立ちます。次に同じぐらいの大接近となるのは2035年です。詳しい火星の見え方や接近のしくみなどについては裏面で解説していますので、この機会にぜひ赤い火星の輝きをご覧ください。

惑星とともに夏の星座もよく見えています。南の空にはさそり座の「アンタレス」があります。街明かりを避けて南の空が開けたところで探すと、「アンタレス」とその周りの星でできる大きなS字形が見つかるでしょう。また、頭上には夏の大三角の星もよく見えます。見どころのたくさんある夏の夜空をぜひお楽しみください。

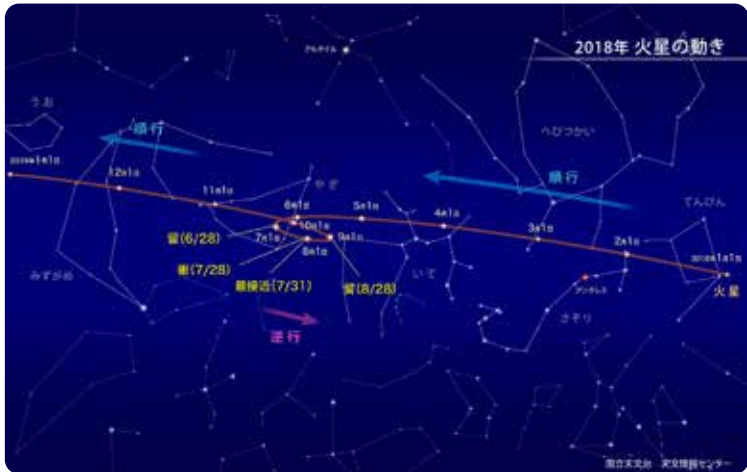


2018年夏

# 赤い火星に注目!

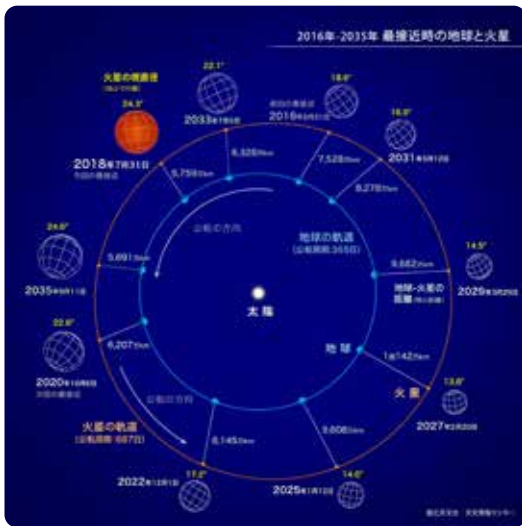
火星は、地球のひとつ外側をまわっている惑星です。火星は直径が地球の半分ほどしかなく、地球から遠い位置にあるときには、望遠鏡を使っても表面のようすをなかなか観察することができません。しかし、火星はおよそ2年2ヶ月ごとに地球に接近し、観察の好機を迎えます。そして、その観望の好機が、2018年の夏に訪れます。今年の夏は、赤い火星に注目しましょう!

どこに見えるの?



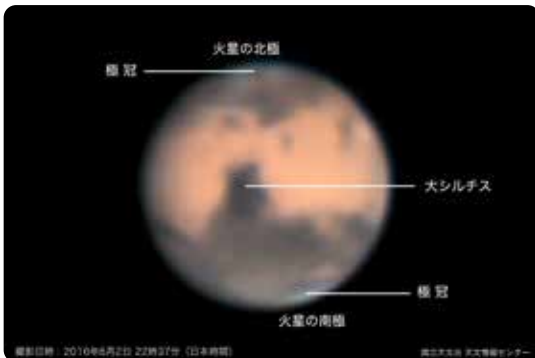
火星は太陽のまわりをまわっているため、夜空で見える場所が毎日変わっていきます。6月28日までは、いて座からやぎ座の方へ移動していきますが、そこから8月28日までは、逆行するように、いて座の方へ移動していきます。これは逆行運動と言います。地球の外側をまわる外惑星の特有の動きです。そして、9月1日から再びやぎ座の方向へ移動していきます。星座の間をふらふらと移動していく様子に注目してみましょう!

火星の大接近について



地球は約365日で太陽のまわりを一回りしますが、火星は約687日でまわっています。すると、地球の方が火星よりも早くまわるため、約2年2ヶ月ごとに地球が火星を追い越します。地球が火星に追いつくときには地球と火星の距離が近くなります。接近時の距離は毎回異なり、接近時の明るさや見かけの大きさが変わります。今回は7月31日に5,759万kmの距離まで近づきます。これは2003年以来の大接近となります。

接近時の様子



地球との距離が近づくにつれて、明るさを増し、望遠鏡では大きく見られるようになります。大接近のころは、マイナス2.8等となり肉眼でもひととき明るく見られます。望遠鏡では表面の様態が見えるくらいに鮮明な姿を楽しむことができます。火星の北極・南極に見られる「極冠」や「大シルチス」という暗い部分を観察してみましょう!